

北海道大学初代工学部長吉町太郎一氏への 230 通の絵葉書

(株)ネクスコ・メンテナンス北海道
北海道大学名誉教授

正会員 ○太田 哲司
フェロー会員 林川 俊郎

北海道大学工学部の橋梁研究室で明治 30 年代から昭和初期に書かれた多量の絵葉書が見つかった。これは、北海道大学初代工学部長で橋梁工学の教鞭をとった吉町太郎一氏あてに国内外に在住する友人や教え子たちが書いたもので、現在では歴史的建造物となっている橋梁の竣工間もない姿などが数多く見られる。この貴重な絵葉書を年代ごとに整理し、差出人の経歴や描かれている橋梁の現状がどうなっているかを調べた。

1. 吉町太郎一氏の略歴

吉町太郎一氏は、1898（明治 31）年に東京帝国大学卒業後、ドイツ・アメリカへ留学し、1905（明治 38）年に名古屋高等工業学校（現名古屋工業大学）教授、1911（明治 44）年に九州帝国大学教授を経て 1924（大正 13）年に北海道帝国大学の初代工学部長となった。1936（昭和 11）年に退官後は室蘭高等工業学校（現室蘭工業大学）の初代校長となり、1961（昭和 36）年に 87 歳で逝去した。

吉町太郎一氏の功績で最も著名なものは、1932（昭和 7）年に完成した旭川市の旭橋（写真-1）の設計指導である。国内でもほとんど例のない、プレストリブ・キャンチレバー・タイドアーチ橋とし、旭川市のシンボルとして市民に親しまれている。



写真-1 旭橋

2. 100 年前の国内外在住の友人・教え子からの絵葉書

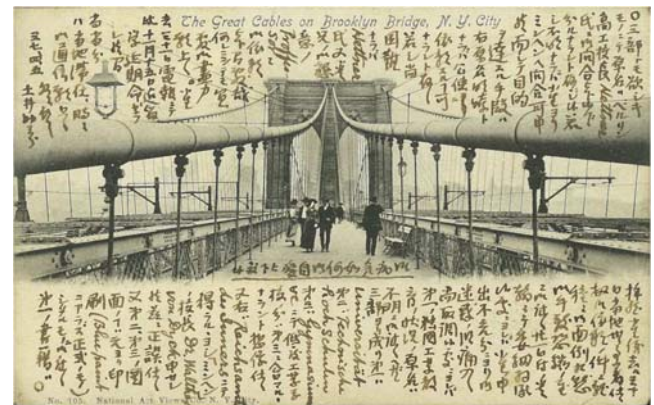
絵葉書は 1902（明治 35）年から 1935（昭和 10）年までのもので、宛先は欧米の留学先から名古屋、福岡、札幌と変わり、総数は 230 枚余りに上る。他に、未使用のものが 300 枚以上あり、吉町氏自身が留学中に集めたものや、差出人が封書に同封したものなどと考えられる。

絵葉書-1 は最も古い時期のもので、1902（明治 35）年に東京市から欧米視察中の直木倫太郎氏（明治 32 年東大卒）が、ハンブルグからドイツ留学中の吉町氏に送ったものである。描かれた橋は 1899（明治 32）年に完成したエルベ川に架かる橋で、完成 3 年後の姿であり、現在でも建設当時の姿のまま使われている。直木氏はのちに関東大震災時には復興局長官となり、その後、満州に渡って満州土木界の第一人者となった。



絵葉書-1 ハンブルグからの絵葉書（明治 35 年）

絵葉書-2 は、土井助三郎氏（明治 20 年東大卒）が 1904（明治 37）年に留学中のニューヨークから送ったもので、完成 21 年後のブルックリン橋（1883（明治 16）年完成）が写っている。土井氏は帰国後の 1905（明治 38）年、新設された名古屋高等工業学校の初代校長となった。



絵葉書-2 ブルックリン橋の絵葉書（明治 37 年）

キーワード 吉町太郎一、歴史的橋梁、絵葉書

連絡先 〒003-0832 札幌市白石区北郷 2 条 14 丁目 3-8 (株)ネクスコ・メンテナンス北海道 TEL 011-874-9002

絵葉書の書かれた時代は、日露戦争、第一次世界大戦を経験し、満州事変が勃発する時代であった。約半数が海外からのもので、ドイツからがその4割程度を占める。これらの橋はその後の戦禍で破壊されたものもある。

絵葉書-3 は当時九大教授であった三瀬幸三郎氏（東大明治44年卒）が1932（昭和7）年に送った絵葉書で、描かれたライン川に架かるホーエンツォレルン橋（1911（明治44）年完成）は1945（昭和20）年3月に連合軍の進撃を阻むドイツ軍により爆破された。

一方、1910（明治43）年に行われた日韓併合後からは朝鮮半島からの絵葉書も出ており、社会基盤整備に多くの土木技術者が朝鮮半島に渡ったと考えられる。

絵葉書-4 は、1912（大正元）年に出された現在の中朝国境にある巨大な旋回橋の鴨緑江鉄橋（1909（明治42）年完成）の絵葉書である。この橋は朝鮮戦争時に国連軍による爆撃によって破壊され、現在でもそのままの状態で見られる。

3. 土木界の重鎮の若い頃の姿

差出人の中には、前出のように、その後のわが国の土木技術の発展に寄与する人物のものも多数含まれている。わが国コンクリート界の父と言われ、その功績を記念して「土木学会吉田賞」が設立された吉田徳次郎氏（明治45年東大卒）、北大・九大教授を歴任し、ドイツで刊行された高層ラーメン解法の実用書「Rahmentafeln」が欧米で高い評価を得た鷹部屋福平氏（大正8年九大卒）、日本道路公団・本州四国連絡橋公団総裁を歴任した富樫凱一氏（北大昭和4年卒）らの若い頃の姿が記されている。

絵葉書-5 は吉田徳次郎氏が1913（大正2）年、赤羽工兵大隊在籍時に送られた利根川での架橋演習の絵葉書である。

4. おわりに

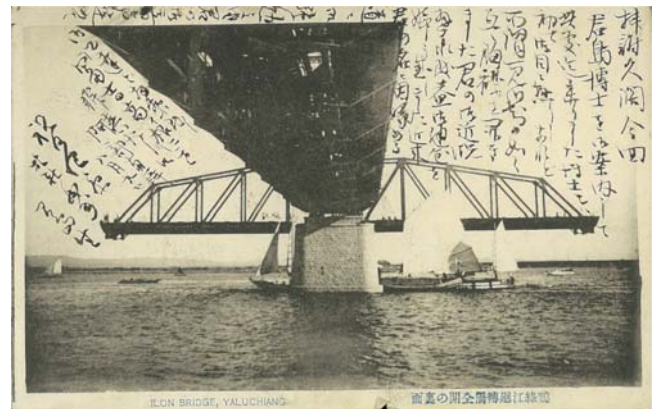
100年前後経過した絵葉書であるが、当時の技術者の生の声に触れると古い時代が身近な存在に感じられる。今回発見されたものは絵葉書のほか、当時の工事写真や竣工記念絵葉書も多数あり、これらは現在、土木学会図書館でデジタル化が進められ、公開される予定である。



絵葉書-3 ホーエンツォレルン橋(昭和7年)



絵葉書-4 鴨緑江鉄橋（大正元年）



絵葉書-5 吉田徳次郎氏よりの架橋演習風景の絵葉書（大正2年）